

『入っていないから関係ない』は通用するか？ — 『加入を強制しない』自治会運営の法的課題

1月29日(木)15:30~16:40

日本のコミュニティの中核として位置付けられている地縁組織体（以下、「自治会」）は、人口減少・少子高齢化や近時の新型コロナウイルス（COVID-19）の猛威などによる影響を受け、その急速な衰退と消滅（例えば、自治会の維持管理の放棄や担い手不足による機能の低下）の危機に瀕しています。

そこで本研究は、沖縄県内外の自治会に焦点を当て、その意思決定・業務執行の法規整及び地域資源管理の法関係を明らかにし、例えば、自治会の任意性（加入・脱退の自由）、フリーライド、デジタル化と個人情報保護といった総論的・各論的課題に接し、それらを行政法学と民法学の視点から整理、検討、考察します。2025年度は本研究の1年目に当たるものであり、文献調査やヒアリング調査を通して法的課題を抽出する基礎的研究を行っています。

研究名

地域社会を構成する組織体の適正・円滑な組織運営と地域資源管理の法関係の研究

研究者プロフィール

司会・報告兼務：真田 章午 さなだ しょうご（沖縄大学経法商学部 専任講師）

龍谷大学法学部卒、同大学院法学研究科修士課程修了（修士（法学））、同大学院法学研究科博士後期課程修了（博士（法学））。龍谷大学法学部、同政策学部非常勤講師などを経て現職。専門は行政法学。

報告者：西脇 秀一郎 にしわき しゅういちろう（愛媛大学法文学部 准教授）

龍谷大学法学部卒、同大学院法学研究科修士課程修了（修士（法学））、同大学院法学研究科博士後期課程修了（博士（法学））。大阪経済大学経営学部専任講師、愛媛大学法文学部専任講師などを経て現職。専門は民法学。



プログラム

- 15:30 開始（事務局より講座の趣旨についてのアナウンス）
- 15:31 司会者挨拶、メンバー紹介（真田（司会））
- 15:35 本研究の概要及びここまでの研究活動に関する説明（真田）
- 15:45 報告①「地縁による団体の任意性と受益・負担の相剋—民法学から—」（西脇）
- 16:05 報告②「地縁組織体と公共性—行政法学から—」（真田）
- 16:25 質疑応答（西脇・真田）
- 16:35 今後の研究の展開（真田）
- 16:40 終了（事務局よりアンケート依頼のアナウンス）

※当日の報告状況などにより、終了時刻が（5分～10分程度）変動する場合がありますことを予めお含みおきください。

=== 地域研究公開講座について ===

沖縄大学地域研究所には、本学教員及び特別研究員、その他の研究協力者で構成された研究班があります。それぞれ、地域の役に立ちたいという想いで地域研究に取り組んでいます。

本研究活動をより地域に開かれたものとしていくことを目的とし、すべての研究班が地域研究公開講座を実施しています。研究班活動の内容や対象とする議題等について皆様に分かりやすく紹介させていただきます。

今年度は、全10班の地域研究公開講座を開催します。

視聴無料

右のQRコードからお申込みください。



問い合わせ先：沖縄大学 地域研究所
住所：沖縄県那覇市宇国場405番地
沖縄大学アネックス共創館2階
窓口：平日8:30~17:15
(12:00-13:00閉室)
TEL：098-832-5599
Email:chiken-staff@okinawa-u.ac.jp

2025年度 沖縄大学地域研究公開講座一覧 (1月15日現在)

※詳細が決まり次第、本学HPよりご案内いたします。

	開催予定日	研究代表者名	研究名	研究内容要約
1	1月25日(金) 14:00～15:30	王志英 (国際コミュニケーション学科)	中国と沖縄の酵素、食材の保存方法について	中国の発酵食品や酵素、食材の保存方法などを地域の方々に紹介し、沖縄に昔からある野草の使い方を参考に、体にいい食品や飲料を考案し、多くの方々に知ってもらおう。
2	1月26日(金) 13:00 ～14:30	西章 (福祉文化学科)	次世代の平和教育プロジェクト	戦争体験のない世代がいかに沖縄戦を継承していくかを目的に、沖縄大学から「平和と反戦」の研究活動を発信する。「戦争と平和」「非暴力と自由」等について教職員と学生で講座や読書会を企画運営し、平和教育を実践していく。
3	1月20日(月) 16:00 ～17:00	若林千代 (経法商学科)	現代沖縄におけるジェンダー・女性・地域の総合研究	現代沖縄の地域社会におけるジェンダーと女性の歴史と現状に関する基礎的なデータの収集と分析による知的蓄積をおこなうと同時に、ジェンダー公正に関する新たな知見を地域社会に還元し、市民的知の構築を目指す。
4	1月19日(水) 16:00 ～17:30	盛口満 (こども文化学科)	離島における教育連携	地理的に不利な離島地域と大学機能(大学生による出前授業と地域交流)を連携することにより、「離島における教育機会」の課題を整理し、同時に大学機関で今後どのように地域と連携できるか模索する。
5	12月20日(土) 第14回土曜教養講座	新島哲太郎 (管理栄養学科)	沖縄の食文化に関する文献調査・人工知能を活用した文献データベース構築	沖縄食文化に関する紙文献をデジタル化・要約・キーワード化し、検索可能なデータベースを構築する。
6	1月29日(木) 15:30～16:40	眞田章午 (経法商学科)	地域社会を構成する組織体の適正・円滑な組織運営と地域資源管理の法関係の研究	本研究では、沖縄県内外の地域コミュニティを構成する組織体に焦点を当て、デジタル化と個人情報保護のあり方、組織体の意思決定・業務執行の法規整や地域資源管理の法関係を、行政法学と民法学の視点から考察する。
7	1月31日(土) 14:00～16:00 第615回土曜教養講座	豊川明佳 (経法商学科)	コーポレート・ブランディングにおけるブランド・アイデンティティの共創プロセス：沖縄県内企業のケーススタディ	本研究は、沖縄県内の企業を対象に、ブランド・アイデンティティの「共創」を軸にしたコーポレート・ブランディングの実践と、市場志向からブランド志向への変革プロセスを考察する。
8	2月24日(火) 17:00～18:10	富山侑美 (経法商学科)	沖縄県の臓器移植に関する法・政策・倫理	移植でしか救命出来ない命を救うための臓器提供が十分ではない現状に鑑み、献腎移植全国1位となったことのある沖縄県での臓器提供推進の取り組みを分析し、とりわけ家族の同意の意義に着目して政策提言を行うことで、よりよい医療環境の構築を目指す。
9	2月開催予定	若林千代 (経法商学科)	沖縄における地域史とオーラルヒストリーの方法—戦後史研究の実践から問い直す—	沖縄戦後史研究では、オーラルヒストリーの方法と実践に対する学術的検証は未だ十分とはいえない。本研究では、オーラルヒストリーの実践を通じて研究史を再検証しつつ、地域史の新たな方法を探究する。
10	3月14日(土) 13:00～15:00 第616回土曜教養講座	宮城能彦 (こども文化学科)	琉球・沖縄共同体の源流と変遷の研究(2)	現在に直接つながる琉球・沖縄の「共同体」は農耕が始まった12世紀から15世紀のグスク時代に始まると言われている。その起源と変遷(特に近世と近代)を考古学と歴史研と社会学の視点から明らかにする。